



平成26年5月7日

## 『創薬支援戦略パートナーシップ』の締結について

日本から世界に革新的な新薬を創出するための  
～ アカデミアと製薬企業の橋渡しに関する提携のお知らせ ～

### 【問合せ先】

独立行政法人医薬基盤研究所 創薬支援戦略室（陰山、竹口）  
☎03-5501-4170

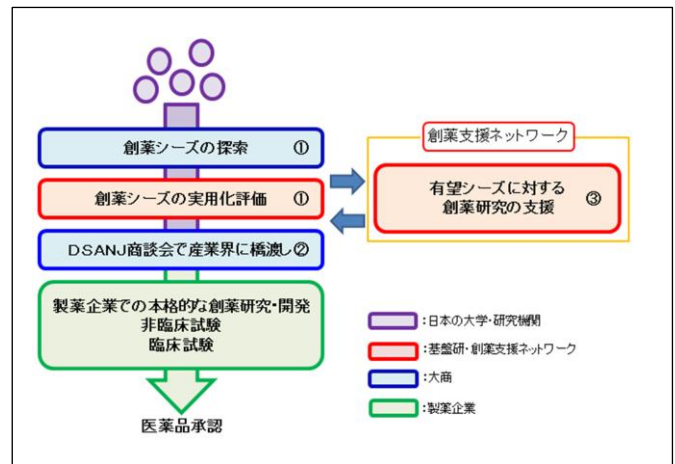
大阪商工会議所 経済産業部（吉川）  
☎06-6944-6484

- 独立行政法人医薬基盤研究所（理事長：米田 悦啓、以下「基盤研」）と大阪商工会議所（会頭：佐藤 茂雄、以下「大商」）は、本日、相互の事業を連携させ、大学や公的研究機関の優れた研究成果を製薬企業に橋渡しすることで、日本から革新的な新薬の創出を目指すための官民パートナーシップ事業『創薬支援戦略パートナーシップ』に係る覚書を締結しました。
- 基盤研は、大学等で行っている基礎研究を製薬企業等に「橋渡し」するための産学官共同研究等を推進するとともに、医薬品等の基盤技術開発を目指した「研究遂行」、「資源分譲」、「資金提供」を統合してワンストップで推進・支援する特色ある研究機関です。平成25年、基盤研に設置された創薬支援戦略室が、日本再興戦略に基づき、理化学研究所、産業技術総合研究所等と連携して創薬支援ネットワークを構築し、日本の大学等で生み出された実用化の可能性が高い創薬シーズの探索研究から前臨床開発まで支援する創薬総合支援事業を行っています。
- 大商は、国内外の創薬シーズ（創薬標的・医薬候補物質）を大規模に収集し、製薬企業に情報提供する「Drug Seeds Alliance Network Japan（以下「DSANJ」）」事業を平成18年から推進（参加企業67社382名、参加実績大学・研究所94機関）し、DSANJ疾患別商談会（循環器、がん等の疾患別に創薬シーズを選定して製薬会社に提供する商談会）等を通じて、8年間で39件の共同研究を支援しています。
- 基盤研と大商は、平成23年度からDSANJ疾患別商談会を共同主催し、基盤研が育成した案件を同商談会に招聘し、製薬企業へ橋渡ししてきました。また、両機関は、これら

の取り組みを通じてアカデミア（大学・研究機関等）発の創薬シーズを製薬企業へ橋渡しする際の課題を共有してまいりました。

- このたびの提携事業では、大商が DSANJ で収集した国内の創薬シーズについて、① 基盤研と連携して創薬シーズの実用化に向けた最新の科学技術に関する評価（目利き）、②①の評価結果に基づき DSANJ 疾患別商談会でパートナーとなる製薬企業への橋渡し、③①のうち創薬支援ネットワークにおける技術支援が有効と考えられる有望シーズへの技術支援の提供（有望化合物のスクリーニング、構造最適化、非臨床試験等の実施）——を実施します。

提携イメージ



- 基盤研と大商によるこのたびの提携事業を通じて、
- 1) アカデミア発創薬シーズの集約的な目利き（評価）
  - 2) アカデミア発の有望な創薬シーズに製薬企業等が効率的にアクセスする環境の整備
  - 3) 創薬支援ネットワークによる効率的な有望シーズ収集と支援の実施
- が図られ、アカデミア発創薬シーズの製薬企業への橋渡しが加速化し、ひいては日本発革新的医薬品が創出されることが期待されます。

以上